

シルバー流山

第30号

発行／社団法人流山市シルバー人材センター
〒270-0114 流山市東初石3-103-18 ☎04-7155-3669



流山の未来を拓く「つくばエクスプレス」



会長 五十嵐 克夫
 (社)流山市シルバー人材センター

「シルバーセンター」

の役割

未だ回復のきざしが見えない日本経済と高齢化社会の進行という今まで経験したことのない社会状況の流れの中で、シルバー人材センターも苦しい運営を強いられております。増加する会員に対し、就業会員の増加が追いつかないのが現状で、ワークシェアリングにも限界があります。就業開拓に鋭意努力しておりますが低迷する経済の波を押し返せません。会員が等しく働くには公平性をもった共働共助の精神が必要となります。誰もが同じ仕事が出来るとは限りません。体力に自信がない方に肉休労働をさせたり、人との対話に得意でない方に受付業務的な対人作業をさせたり、また地域的な面で無理な就業をさせることは公平とはいえません。そういう事を考慮して共助の作業を進めて行くのが公平性をもつたものと考えます。

また、流山市高齢者総合計画の基本理念として「元気です、いきいき、あんしん流山」を掲げており、その基本目標に「高齢者の健康づくり」と「就労等地域社会への参画、貢献できる機会の拡充」を謳っております。まさにこれがシルバー人材センターの有様で注目したい。週一、二回の就業であっても、気づかいや気分的に身の引きしまる感覚を持つ事で、そのこと自体老化現象を防ぐことになりはしないか。また短時間であっても就業は社会に参画している意識を持つのではないだろうか。以上のことから少しでも多くの会員が、就業出来るようローテーションを徹底して、総合計画の基本目標にそいたいと思っております。

通常総会

平成15・3・11
第39回

平成15年度
事業計画
平成15年度
収支予算



第39回通常総会が、去る3月11日(火)午前10時から初石公民館において開催されました。本総会に提案された議案8件は、審議の結果、い

れも原案どおり可決、承認され午前12時18分閉会となりました。総会は第3地区の小池理事の司会で始まり、第7地区の吉川副会長の開会のことばに次いで五十嵐会長より挨拶があった。続いて総会議長に第3地区の為本清佐美氏が選任され、開会に先だって出席



状況の報告がありました。

会員総数 五五〇名

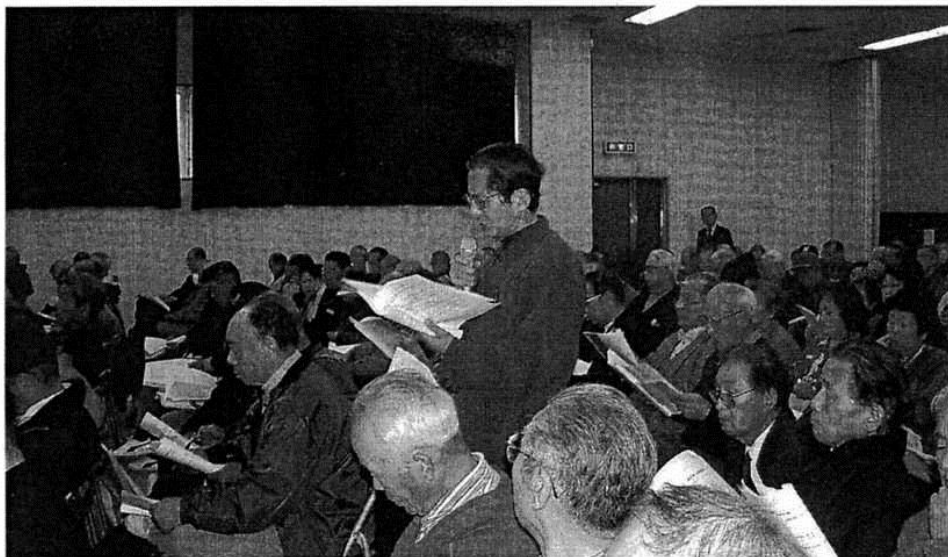
出席会員 四八五名

うち委任状(表決委任者)二六六名

で会議は成立していることが報告され、次いで議事録署名人に第1地区の高橋資郎氏、第9地区の荒川文雄氏が選出任命されて直ちに議案審議に入りました。

議案は流山市シルバー人材センター平成14年度補正予算、平成15年度事業計画、

同収支予算、流山勤労者総合福祉センター平成14年度補正予算、仮称コミュニティプラザの平成13年度補正予算、会員互会平成15年度事業計画、同収支予算についてでした。



シルバー事業の確立に向けて



流山市シルバー人材センター事務局長 根本 英男

雇用情勢の厳しい経済環境の下で、シルバーに対する補助金も削減されてきております。このような中で、

シルバーに入会する会員も年々増加しており、いかに就業を開拓し会員に仕事を提供して行くかなど、シルバー事業を取り巻く環境も非常に厳しく、今後の経済・雇用情勢の動向に細心の注意を払いつつ、事業及び就業開拓を推進しなければならぬ、現況であります。

事業を推進するうえで大切なのが、発注者・センター・会員の三者が満足する事が大事であると認識し、就業対策にも取り組んでおります。

シルバーの就業は、労使間の雇用関係を前提とした上での高齢者就業ではなく、あくまでも地域の高齢者が自主的に、働こうとする所の互助と共働のための就業であります。60歳以上の高齢者の方が、自分の長い人生の中で、身につけた経験と技能及び生活の知恵を地域社会のため

に提供し、働くことによって、地域コミュニティにおける大事な一員となり、高齢者が自覚と誇りを身につけながら、積極的生きがいを見つけて出す事業です。

この事業が、センター・会員及び関係者等が理解していても、企業や地域社会から理解されなければ、事業の運営及び就業開拓もまならない。よってシルバーの組織や事業の運営などを、いかに地域社会に広報するかが、課題であります。

就業で大切なのが健康です。と同時に良質のサービス提供と言う事で、親切・丁寧・誠実・着実に心掛ける事が必要であります。健康と就業に対する取り組みは、会員一人ひとりの自覚が最も大切です。

今後も、高齢者のニーズの多様化を受けて、会員とのコミュニケーションを図りながら、組織体制の充実に努め、シルバー事業が、生きがいの創出と地域社会の活性化等に、大きな役割をより一層担って行けるよう、関係者の協力を得ながら取り組んでまいります。

事業運営推進委員会の活動状況

総務部会は

会報「シルバー流山」29号でお知らせしたように、是非会員の皆さんのお手元にあつた方がよいと思われる定款、就業規約、安全就業基準、会員互助会会則等の規程類の見直しを現在行っています。終わり次第印刷し、お手元にお届けしたいと考えています。

また、シルバー人材センターの目的、入会・退会について、就業に当って、配分金の支払いについて、就業上の心得、安全就業の心得、シルバー保険について、班編成、互助会等、会員として知っておきたいことや心得えておきたいことを「会員のしおり」としてまとめ、これも皆さんのお手元へお届けしたいと考えて検討しています。この「しおり」は、新しく入会される会員の方には、特に役立つものと考えています。

業務部会は

今年度は、ワークシアリングのための資料づくりと、就業開拓を中心とした活動を進めています。資料づくりは終つ

たので、それに基づいてワークショップアリングを行い、あります。また、就業開拓も進み成果を挙げ、あります。

因みに、平成14年度4月より12月末までに、新たに就業した会員の状況を見ると、開拓による新規就業四五人、その職場の増員による就業二一人、会員が辞めた後の補充による就業三四人の計一〇〇人という結果が出ています。

なお、14年度12月末までに新しく入会した会員一五七人を加えて、12月末現在会員総数五五五人おります。そのうち未就業の会員の方は一二人います。このように、まだ未就業会員の多い現状や、入会会員がますます増加することが予想される状況にあつては、就業開拓は今後更に力を入れていかなければならないと考えています。

それには、センターだけが就業開拓に当たるのではなく、会員の皆さんも一緒になって就業開拓をしていく(自主・自立)ということが大切であると考えています。就業についての情報がありましたら、センターへ連絡してください。皆さんのご協力をお願いします。

互助会研修の旅

松田 明

仲秋の信濃路の歴史・風土の探訪と会員相互の親睦を図る為と云ふ明確な浦壁互助会会長の意向に沿ひ、駒込・紅谷・小池・高田等の諸氏が、幾度も打ち合せ、細密なスケジュールを作り上げ、準備万端当日を迎へたと聞いております。九月二十八日(土)我々会員は、一人も欠ける事なく、五十五名は、秋雨そほ降る流山を、信州戸倉温泉を目指し、定刻に出発しました。大型バスは順調そのもの、関越道から上信越道に入った頃には、すっかり晴れ上り、佐久の山並は、薄つすら紅葉の兆しが見られました。ガイド役も兼ねた運転手は、巧な話術で、信州の風土や、これから行く場所の予備知識など聞いている内に、車内では酒が入るにつれ、くつろいだ雰囲気の中、旅館に到着時間当てや、ビンゴゲームの賞品に、一喜一憂しているうちに、長野ICを下りて、R18を走って、三時間半で川中島古戦場脇の、峠の茶屋おぎの屋に到着しました。五百人は収容出来る広い店は、何でも長

野オリンピックク時に、諸々の事情で此の地に出店したそう、横川と同じポリューム満点の美味しい昼食でした。十三時から、オ一日目の目玉でもある松代行きです、松代と言えば群発地震で有名な処ですが、他方では真田十萬石の城下町で、閑静な武家屋敷が残っている処として著名です。真田邸や宝物館・藩校の文武館を中心とした、盛沢山の見学コースがあり、二時間半の自由散策となり、三々五々思ひの場所に散って行きました。私達は武家屋敷を通り、三十分かけて象山地下壕へ、素掘の地下壕は、灯りがあるものの、足元がごつごつして歩きにくく、掘った人達の苦しみを思ふと、軍部は大きな無駄をしたと思ふ。

朝鮮人強制労働者の碑に合掌。藩校文武館では、百五十年前の建物そのままに、佐久間象山の薫陶を受けた志士が現われるのでないかと錯覚する程でした。最後に見学した宝物館では、膨大な展示品の中で、具体的に力強い筆跡の豊臣秀吉からの最後通牒があり、歴史の一端が窺う事が出来ました。中身の濃い見学のあとは、中村林檎園に立寄り休憩。十六時半に秋の釣瓶落しの街をすり抜け、十七

時ジャストに、宿泊地戸倉温泉みやこ屋に到着、予め決められた部屋割に沿って座敷へ、旅館自慢の森林風呂に飛び込んだのでした。

懇親の宴は駒込互助会副会長の司会で始まり、浦壁互助会、五十嵐流山シルバールの両会長の短かいが、会員諸氏の健康を気付かふお言葉頂きました。飲む程に歓談の輪が広がり、やがてカラオケの世話係の村谷さんに促され、次々と得意な歌を披露、座が湧きました。白川和子さんが唱ふ頃は最高潮となりました。メめの歌は村谷さんが、吉幾三張りに唱って宴が果てたのでした。その後も各座敷での交流は続きました。オ二日目の早朝の戸倉は雲が垂れ込め、や、寒の千曲の流れが、夜来の疲れを流し去って呉れました。朝食は八時からで、会員の皆さんの早いこと、仲居さんの仕事を早く終らせる程でした。全員が玄関前で根本局長に撮って頂き、雲が切れ青空になった、坂城の信州みそ新田醸造蔵へ、次いで日本一甘いと運転手さんが勧めるバラ園と葡萄園へ、巨峰の房を自分で剪って買々と云ふものでした。私達全員は、朝の果物は金と言ふ諺もあり、巨峰の試食を充分

楽しみました。一六〇〇年関ヶ原に駆けつける徳川秀忠を此の上田城で遅らせたのは有名な話です。搦手門に登る危かし急坂は……さもありなんの感じがしました。

道が整備されたので近年観光客が行くと云ふ海野宿は、北国街道にあり紅がら格子の家並の道に小川が流れる風情でした。大型バスで乗り付けた私達は、駐車する処とて無いので、早々に引きあげ、小諸駅前にある、城跡懐古園へと急ぎました。信州と云えば蕎麦、蕎麦屋と云えば戸隠蕎麦とここ懐古園草笛蕎麦が有名だそうです。食べたのはざるせいろ、付け出しは胡麻だんご、あんず、菜の花漬と言ふ凝ったもので流石がと感じ入りました。表に出ると大型台風のはしりか、雨が降って来ましたので急ぎ帰路に着きました。佐久ICでトイレ休憩の後は、一気に流山まで二時間半、車内では吉川さんの声量ある詩吟など、それぞれ多様な人柄に触れる事が出来ました。特に長野県出身と言ふ事もあって献身的にお世話下さった小池良男さん、ありがとうございました。

流山インターから江戸川台西口、文化会館と約八〇〇Kに及ぶ長丁場を安全に

運んで下さった、信州交通の運転手さんに感謝すると共に、互助会を始め、成功裡に導いて下さった関係役員の皆様ありがとうございました。



安全就業は一人一人の意識から

「事故ゼロ」は我がシルバーの合言葉

平成15年度安全就業スローガン 安全対策委員会

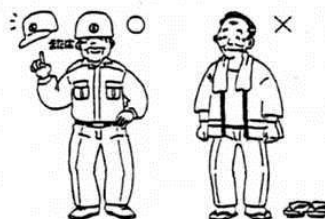
- 安全はシルバーみんなの合言葉（全国統一スローガン）
- 安全はいつでも気配り心がけ（千シ連スローガン）
- 安全就業は一人一人の意識から（流シスローガン）



① 作業は安全第一を心掛け、急いだり、あわてたりしないこと。



② 器具類は使用する前に必ず点検すること。



③ 服装・履物は作業に合った動きやすいものにすること。



④ 作業前には軽い柔軟体操をして体をほくすこと。



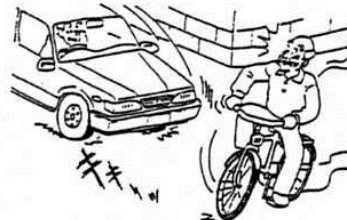
⑤ 加齢による、諸機能の低下を十分認識し、無理をしないこと。



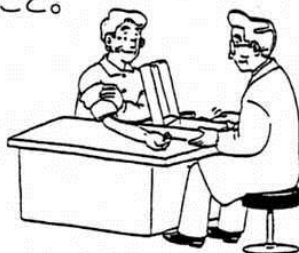
⑥ 作業現場は常に整理整頓を心掛けること。



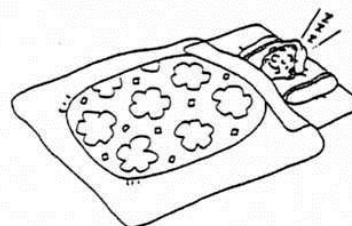
⑦ 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。



⑧ 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること。



⑨ 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。



⑩ 仕事の前日は、十分睡眠をとるよう心掛けること。

シルバー人材センターへのメッセージ

毎日ご苦勞さま!! ありがとうございます

カラ／＼と落ち葉が舞い散る晩秋となりました。この度は昨年から引き続き庭の剪定、植込み等で貴センター殿には大変にお世話になっており、今年もこの度、十一月から池田三郎氏をリーダーに早朝より大変なご苦勞をおかけし、お陰様で見違える様に立派なよい庭に仕上げて頂きました。角地故に、通る人皆々「ステキね」「上品に仕上がってる」と一同、ほめて眺めて行かれます。「シルバーセンターさん見直したわ、今度我家も依頼しよう!!」と言う人もおられました。仕事熱心で良心的で安



感謝しております。



心してお願ひ出来て本当に感謝の気持ちで一筆御礼申したくペンを持ちました。「時々寄ってアフターケアもして下さい」とお願ひしたい気持ちです。

岩 佐 直 正
一 恵

☆自転車置場の おじさまたちへ☆

おはようございます。いつも7・32発の流山線に乗るために、赤いボロい自転車でギリギリに自転車置場に駆け込んでいた、岡田有美子と申します。

実はこの度、10月から一年間、韓国へ韓国語を勉強しに留学することになりました。最後にちゃんとご挨拶もできずに発つことになってしまい、こうして手紙を書かせていただきました。

おじさまたちにはいつも明るく「いつでもらっしゃい」とお声をかけていただき、又、時に時間がないときは、乗り捨てて行った自転車を、私の置くいつもの場所まで移動しておいていただいたり、それから今年には本当は1番置場だったところ

を、こつそり2番置場にさせていただいたり…

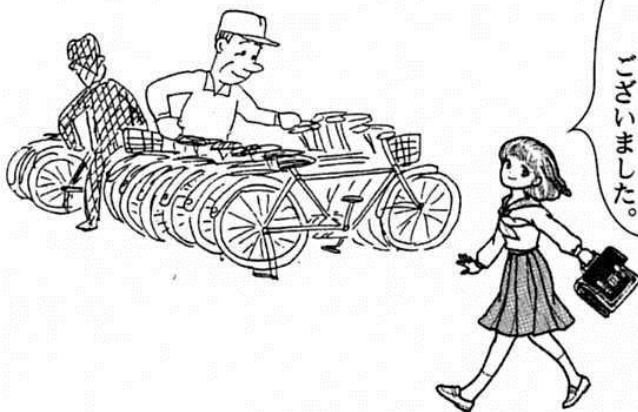
本当にいろいろとお世話になりました。どうもありがとうございます。

これから寒い季節になると、朝の作業も厳しくなりますね。でも、健康がまず一番ですので、どうぞお身体を大切になさって、いつまでもお元気でいらしてください。

それではまたいつかお会いできるのを楽しみにしております。

2002.9.29 岡田有美子

どうもありがとうございます。
ございました。



そのことから、「羊」の下に「我」と書いて、「義」という文字ができたと言われてます。「義」とは、正義の義で、つまりは「人として行うべき正しい道」の意です。

「群羊を駆って猛虎を攻む」 弱い羊を集め虎を攻撃すること。力の弱いものでも、沢山集まれば、強いものでも対抗できるということのたとえ。

「千羊の皮は一狐の腋に如かず」 千枚の羊の毛皮も、狐の脇の下の白い毛皮一枚に及ばない、の意で役に立たない人が千人いるよりも、一人の賢者の方がよいということのたとえ。

「羊質虎皮」 虎の皮を被った羊のこと。外から見れば立派でも、中身が外見ほどでないたとえ。

「羊を以て牛を易う」 小さいものを大きな物のかわりにすること。斉の宣王が、生けにえとして引かれて行く牛を哀れみ、代わりに羊を生けにえにさせたという故事による。



1. 川原 博行
2. 昭和6年3月21日
3. 10地区
4. 茨城県
5. 陶芸、剣道、ゴルフ



1. 落石スエ子
2. 大正8年6月3日
3. 2地区
4. 福岡県
5. 読書



1. 小山 昭作
2. 昭和6年3月29日
3. 6地区
4. 長野県
5. 法制・会計制度の学習研究。
囲碁・俳句



1. 鈴木ひさ江
2. 昭和6年1月25日
3. 7地区
4. 静岡県
5. 家庭菜園



1. 隈本 昭幸
2. 昭和6年5月6日
3. 9地区
4. 佐賀県
5. カメラ、卓球



1. 大友 岸雄
2. 昭和6年1月30日
3. 2地区
4. 秋田県
5. 釣り



1. 早川 鉞幸
2. 昭和6年5月14日
3. 7地区
4. 愛知県
5. ゴルフ、パソコン



1. 渡辺 勝見
2. 昭和6年2月1日
3. 4地区
4. 茨城県
5. 園芸盆栽



1. 舟山 八良
2. 昭和6年5月19日
3. 9地区
4. 福島県
5. 音楽、楽器



1. 鈴木きくよ
2. 昭和6年2月2日
3. 7地区
4. 千葉県
5. 人形収集



1. 鈴木 みよ
2. 昭和6年6月25日
3. 7地区
4. 千葉県
5. 着付



1. 鈴木 勇
2. 昭和6年2月16日
3. 3地区
4. 東京都
5. パソコン、ゴルフ、バード
ウォッチング



1. 立石 弘
2. 昭和6年7月9日
3. 8地区
4. 徳島県
5. 盆栽



1. 宮澤 良次
2. 昭和6年3月20日
3. 10地区
4. 長野県
5. 読書、旅行、カラオケ

「未」年生まれの皆さん

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 1. 名前 | 2. 生年月日 | 3. 地区名 |
| 4. 出身地 | 5. 趣味 | |

羊にかかわる故事、諺など 中国の古い話によると、森のけものたちが、のんびりと草をたべながら、のどかに遊んでいるところへ、突然、猟師が現われ、けものたちが絶対絶命のピンチになりました。すると多くのけものの中から羊が飛び出して来て、猟師の前に立ちはだかり、猟師の矢を受けて倒れました。その間に、他のけものたちは逃げて助かったそうです。羊は一般に、おだやかでおとなしい動物の代表のように思われていますが、前記の話のように、いざという時は、我身を捨てても他のものを救う、すばらしい動物と考えられていたようです。



1. 増田 三雄
2. 昭和6年11月19日
3. 2地区
4. 静岡県
5. 旅行、釣り



1. 廣瀬 睦男
2. 昭和6年7月28日
3. 7地区
4. 東京都
5. 吟詠、史跡探勝、ウォーキング



1. 天沼 道信
2. 昭和6年11月27日
3. 8地区
4. 東京都
5. パソコン、旅行



1. 木村 栄治
2. 昭和6年9月10日
3. 3地区
4. 茨城県
5. 旅行



1. 仲村 昭見
2. 昭和6年11月30日
3. 5地区
4. 神奈川県
5. 無芸大食



1. 佐藤 喜男
2. 昭和6年10月11日
3. 7地区
4. 千葉県
5. 読書、ウォーキング、家庭菜園



1. 野口 猛
2. 昭和6年12月14日
3. 2地区
4. 茨城県
5. ウォーキング、カラオケ



1. 家喜 久士
2. 昭和6年10月12日
3. 5地区
4. 北海道
5. ゴルフ



1. 御古 明郎
2. 昭和6年12月20日
3. 9地区
4. 鳥取県
5. 旅行、囲碁、釣



1. 小田 徳明
2. 昭和6年10月23日
3. 2地区
4. 千葉県
5. 車いじり



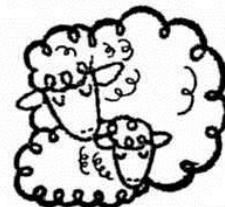
1. 風間日出子
2. 昭和18年7月13日
3. 7地区
4. 新潟県
5. 創作童話



1. 片山 朝次
2. 昭和6年10月29日
3. 3地区
4. 東京都
5. 読書、釣



1. 徳島ツネ子
2. 昭和18年7月20日
3. 7地区
4. 鹿児島県
5. 特になし



みんなで読んで、 よく知ろう!!

シルバー人材センター 運営上のポイント (2)

(社団法人 全国シルバー人材センター事業協会編より抜粋)

シルバー人材センター(センター)への入会関係としては、都道府県知事がセンターを指定する場合、事業の適正かつ効率的活動を確保するため、一つの市町村の区域を単位に一つの団体に限り指定することを原則としています。

知事の指定を受けたセンターの事業は、その地域における日常生活に密着した臨時的、短期的な仕事を会員に提供することを基本的事業としています。

この事業の運営に当たっては、市、区、町、村から補助金の交付を受けて実施していますので、厳格に言えば当該補助金を交付している、市、区、町、村に居住している高齢者のみが対象となります。

高齢者がセンターの正会員になるためには入会申し込み書を提出し、これを定款の定めに従って、理事会で承認し、初めて正会員として認められることとなります。

センターが受注した仕事はセンターが責任を持って遂行しなければなりません。仮りに、正

会員(構成員)でない者が就業して仕事上のトラブルや事故が発生した場合には公益法人(センター)としての責任の所在が問題となります。従って、仕事の提供は正会員になってから行っておりません。

入会希望者にはセンターの理念(自主・自立・共働・共助)や、仕組み(請負、委任の形式で就業する)等を十分説明し納得したうえで入会手続きを行っております。

具体的には、

- (1)センターは高齢者が主体となつて結成し、互いに協力しながら、自主的、民主的に運営する団体であります。
- (2)仕事は請負・委任の形式で就業し、雇用関係に基づく就業ではないこと。
- (3)就業日数や収入の保障もしないものであること。
- (4)団体傷害保険にも加入している。

前記等を詳細に説明した後に、センターの趣旨に賛同した者が申し込み書を提出します。

なお、説明会は特定の日(又

は曜日)をあらかじめ定めて、集合で実施しております。

センターは、高齢者(会員)が構成員となっている公益社団法人であり、会員の総意によって運営されることが基本になっています。

総会は会員全体の意思が直接反映される場としてセンターの最も重要な機関です。

総会の構成や機能は、センターの定款に定められており、総会には通常総会と臨時総会とがあります。

現在センターでは通常総会が定款上、2回開催されており、これは「高齢者等の雇用の安定等に関する法律施行規則」では、都道府県知事の指定を受けたセンターは、事業計画(予算を含む)を毎事業年度開始前に、事業報告(決算を含む)を年度終了後3ヶ月以内に都道府県知事に報告することになっています。

法令で定められた事項を確実に履行するために年2回の総会を必ず開催しております。

平成14年度(上半期統計)シルバー人材センター事業実績(抜粋)

団体名	区分	会員数(人)				受注件数(件)			
		男性	女性	合計	女性の占める割合(%)	公共	民間	合計	公共の占める割合
(社) 千葉市	補助	1,953	615	2,568	23.9	126	3,301	3,427	3.7
(社) 市川市	補助	1,085	332	1,417	23.4	44	1,501	1,545	2.8
(社) 松戸市	補助	1,671	487	2,158	22.6	104	2,193	2,297	4.5
(社) 野田市	補助	394	82	476	17.2	65	610	675	9.6
(社) 佐原市	補助	126	105	231	45.5	285	1,103	1,388	20.5
(社) 成田市	補助	210	64	274	23.4	71	1,044	1,115	6.4
(社) 習志野市	補助	599	126	725	17.4	60	1,093	1,153	5.2
(社) 柏市	補助	1,085	252	1,337	18.8	57	1,669	1,726	3.3
(社) 流山市	補助	423	110	533	20.6	41	1,432	1,473	2.8
(社) 我孫子市	補助	439	165	604	27.3	78	740	818	9.5
(社) 鴨川市	補助	202	143	345	41.4	54	675	729	7.4
(社) 鎌ヶ谷市	補助	327	114	441	25.9	68	590	658	10.3

事務局便り

1 環境美化運動の実施

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の事業として、本年は社会奉仕活動(新川耕地の一日清掃)を実施いたしました。

・実施日時

平成14年10月14日(月)

午前9時～約2時間30分

・実施場所

新川耕地(流山市平方四五六番地先、コスモス畑付近)

会員98

人が参加し、道路沿いなどに捨てられた空き缶やごみ拾い集めました。参加者



は、集められたごみの多さに驚き、ポイ捨てをしない正しいマナーの大切さを実感しました。

2 全シ事業協会 設立20周年記念大会

平成14年10月17日(木)13時～東京・中野サンプラザに、副会長の吉川、理事の紅谷が出席しました。

役員研修

平成14年12月2日(月)

3日(火)

埼玉県の新座市シルバー人材センターを訪問、青梅の炭焼きを視察しました。(自主運営事業の参考のため)

職群班会議

平成14年6月24日(月)

植栽(班長会) 10名

(シルバーセンター)

平成15年1月20日(月)

スポーツ振興関係 18名

(青少年ホーム)

。平成15年2月3日(月)
 勤総(コミュニティプラザ)関係 21名
 (コミュニティプラザ)

。平成15年2月6日(木)
 公民館関係 18名
 (コミュニティプラザ)

。平成15年2月8日(土)
 自転車関係 58名
 (シルバーセンター)

。平成15年2月10日(月)
 福祉会館関係 35名
 (シルバーセンター)

。平成15年2月24日(月)
 植栽関係 30名
 (シルバーセンター)

会員の動き

(平成十四年九月一日)
)平成十五年二月末日)

新入会員 四十四名
 退会員 十九名
 総会員数 五百五十名

地区別の会員数

地区別会員数は次の通りです。あなたの所属区を確認して下さい。

計	地区別会員数表																			
	区	倉敷	町	名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
550	44	78	38	70	61	58	44	37	72	48	西深井・平方・美原・深井新田	東深井・こうのす台	江戸川台東・駒木台・青田	江戸川台西・富士見台・北・小屋・中野久木	江初石・若葉台・下花輪・上新宿・南・谷	東初石・駒木・美田・十太夫	流山1~9・平和台・加三輪野山・中・草井	野々下・長崎・芝崎・古間木・市野谷	南流山1~8・西豆井・蟠ヶ崎・宮園	向小金・松ヶ丘・名都借・前ヶ崎・西松ヶ丘
(八月末現在)																				

行事予定

4月 監査
 役員会
 5月 総会
 6月 シルバーの日
 平成十五年度前半の行事計画は右記のとおりです。
 登録説明会
 ・本部会は毎月実施

おくりやみ申し上げます
 平成十四年十月死去
 船田 利雄さん(東初石)
 平成十四年十二月死去
 山崎 作蔵さん(加)
 平成十五年二月死去
 鈴木 定一さん(青田)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

「シルバー流山」30号遅くなりましたが、お届けできて安堵しております。これからも頑張っていきますので、ご支援をくれぐれもよろしくお願いいたします。



事務局 塚田 正信



中嶋 耕二



松田 明



高田 信子



竹島 耕一



紅谷 幸夫

編
集
委
員